

## 相模原球場 管理に関する仕様書

### 1 本書の趣旨

相模原市立相模原球場（以下「球場」という。）の指定管理者が行う業務の内容及びその範囲等については、この仕様書による。

### 2 業務実施のポイント

- （１）球場が本格的な観戦試合の可能な施設であるという特徴を踏まえ、生涯スポーツ社会と豊かなスポーツライフの実現、及びスポーツ観戦の場の充実という、「相模原市スポーツ推進計画」の基本理念に基づいた管理運営・事業実施に努めること。
- （２）１６，０００人収容可能な施設にふさわしい大会等を積極的に誘致するとともに、大会等の実施にあたっては、物品の貸出や施設の運営等において積極的に協力すること。
- （３）各業務の実施にあたっては、本仕様書で示す人員等を確保し、確実に実施すること。
- （４）利用者の安全の確保及び球場内の秩序維持には最大限の注意を払い、利用者が安心して利用できる環境を保つこと。  
また、利用者の快適な施設利用を確保するため、球場内の美観、衛生の状態に注意を払うこと。
- （５）事故や災害等が発生した場合に備えて、緊急連絡体制や行動マニュアル等を作成するとともに、日頃より職員に対して自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の使用方法や、救急救命方法の研修を含めた訓練を行うこと。
- （６）施設の管理に関して発生したトラブルについては、市との協議・協力体制の下、迅速かつ適切な対応を図ること。
- （７）利用者の意見を把握する努力を積極的に行い、利用者サービスの向上のための努力を行うこと。
- （８）利用者の安全やサービス水準の低下を招かない範囲で、効率的な管理運営を行い、費用の削減に努めること。
- （９）施設運営の検討等のために、市が行う施設に関する調査等に対しては、積極的に協力し、市とともに、より良い施設運営に向けた努力をすること。
- （１０）施設のＰＲを積極的に行い、利用者数の向上に努めること。
- （１１）個人情報及び本業務における情報の保護を徹底すること。

### 3 施設の運営に関する業務について

#### （１）本業務の目標

本業務実施にあたっては、利用者の安全確保、球場内の秩序維持、その他利用者サービス向上の確実な実施のために、総合的な業務を行う者や専門的な知識を有する者について、必要な人員を確保し行うこと。

また、休日や繁忙期、大会実施を考慮した上で臨機応変に人員配置を行い、放送設備等を活用し、効率的かつ効果的な施設運営を行うこと。

#### （２）業務担当者について

球場に配置する業務担当者（以下「担当者」という。）については、清潔であり、さわやかで明るい対応を行える者とする。

また、担当者を選任又は変更した場合には、速やかに市に届け出るとともに、各年4月1日時点における管理業務の従事者報告書を提出すること。なお、資格を要する業務に従事する者については、資格を保有することを証する書類の写しと併せて届け出るものとする。

配置された担当者について、業務を行うにあたり不適切と認められる場合は、市はその交代を指示することができることとする。

### （３）施設の運営に関する業務について

#### ア 人員の配置

供用時間中は業務全般を把握し、窓口業務及び緊急の事故等への対応が可能な担当者を常時1名以上、その他施設運営の確実な実施に必要と判断される人員を事務室等に配置すること。この際、専門的な知識・技術を有する者の配置についても考慮すること。

#### イ 利用者利便の確保等

（ア）球場利用案内等をはじめとする利用支援

（イ）問合せ対応、施設の管理に関する苦情、意見の受付、対応

※ 内容により市と協議して対応を行う。

（ウ）障害者及び高齢者等の利用補助

（エ）球場全体の遺失物、拾得物の管理

遺失物、拾得物については、遺失物法等に基づき適切に管理・処理すること。

（オ）場内における呼び出し、場内放送

（カ）施設及び利用について、利用者周知を図るための案内パンフレット等の作成、配布、ホームページ整備をはじめとする広報活動

#### ウ 利用受付等

（ア）グラウンド、体育室、会議室の貸出

（イ）一般利用、専用利用等の利用に係るスケジュール管理

（ウ）専用利用の利用調整、申請の受付等

「資料10 スポーツ施設の専用利用調整基準」に基づき、一般利用、専用利用等の施設利用と、維持管理業務とのバランスを考慮して、年間の貸出スケジュールを作成し、利用者に周知を図ること。

また、相模原市立相模原球場条例（以下「条例」という。）に定める期間に申請を受け付けること。なお、専用利用等に係る申請書類等は、市と調整の上、指定管理者が用意する。

（エ）大会、イベント等の利用調整

淵野辺公園内の各施設（銀河アリーナ、テニス場、少年野球・ソフトボール場等）との連携を図り、利用者が混乱をきたさないよう留意すること。

（オ）附属設備の貸出

（カ）使用料の徴収及び管理集計

現金で徴収した使用料は安全な方法で保管する等の措置を講じ、公金管理を厳重に行

うこと。

(キ) 相模原市公共施設予約システム（Ｓネット）を用いた利用管理業務

使用料の徴収及び市への納付、利用者による利用に関する手続き等の支援業務等を行うこと。

なお、Ｓネットにより予約管理をする施設の使用料の徴収もあわせて行うこと。

(ク) 使用料の減免及び還付に係る連絡調整

使用料の減免及び還付については、市との連絡調整を行うこと。

(ケ) 鍵の貸出業務

Ｓネット業務端末にて予約確認を行った上で、緑が丘２丁目公園スポーツ広場の鍵の貸出を行う。

エ スポーツ振興事業の実施（企画提案事業）

相模原球場は、「教育、学術及び文化に関する事業」又は「教育、学術及び文化と密接な関連がある事業」を行うことを主目的とする教育機関として位置づけております。市内の教育機関では、これまで競技の底辺拡大に寄与する事業（例：子ども合気道教室）や、スポーツ事故等の未然防止に寄与する事業（例：着衣水泳体験教室）、スポーツのノーマライゼーションに寄与する事業（例：障害者水泳体験教室）などを実施してきていますが、市は、相模原球場におけるスポーツ振興事業の内容の提案と実施について委託しますので、団体独自の発想と専門性を活かし、事業の内容、目的、実施時期、実施回数、対象者、想定する参加料、効果等の内容を具体的に記入してください。

なお、提案にあたっては、次の点に留意してください。

①「資料１０スポーツ施設の専用利用調整基準」に示す基準に従い、一般利用及び専用利用の利用者の利用枠を確保してください。

②参加料を徴収することはできますが、市の委託事業であることを勘案して参加料を設定してください。

③スポーツ振興事業の実施にあたっては、あらかじめ市にその内容を提案し、承認を得ることが必要となります。

オ 事件・事故・災害等への対応

(ア) 緊急時の対応体制、マニュアルの整備及び訓練の実施

事件・事故・災害等が発生した場合に備えて、市と協議の上、緊急連絡体制、「緊急時対応マニュアル」及び「避難計画」を整え、日頃から職員に周知徹底すること。また、避難訓練、救急救命等の訓練を市消防署に届出の上、年２回以上行うこと。なお、防災訓練実施の際には、利用者、周辺住民等への配慮を行うこと。

(イ) 緊急時対応及び報告

緊急事態が発生した場合には、利用者等へ迅速かつ的確に情報を伝達し、利用者の安全確保を行うこと。また、市に所定の報告書により報告し、その指示に従うこと。

(ウ) 相模原警察署損壊を想定した代替施設の指定

相模原球場は市と神奈川県相模原警察署との間に締結した協定により、相模原警察署が災害等の発生により庁舎損壊又はそのおそれによって使用不能となった場合の代替施設として指定されており、当該協定適用時には施設の提供について協力しなければならない。

(エ) 地域防災計画における施設の位置付け

球場は、災害時利用施設に位置づけられているため、災害等発生時には相模原市地域防災計画に基づき、適切な対応をとること。

(オ) 傷病者発生時の対応

応急処置を行うための用具、薬品等を常備し、傷病者発生時における応急処置及び必要に応じて救急車等の手配を行うこと。また、市に所定の報告書により報告し、その指示に従うこと。

(カ) 防災及び防犯に関する業務

球場全体を随時巡回するとともに、施設確認等を徹底し、防災、防犯に努めること。

また、防災盤の情報を随時確認し、警報等が発生した際には速やかに対応すること。

カ 自動体外式除細動器（AED）の配備について

(ア) AEDを施設の運営上必要な場所に1台配備すること。

(収支予算書の経費に見込むこと。)

(イ) AEDは、定期的に作動チェック等のメンテナンスを行い、電池・パッド等の消耗品について必要に応じて交換すること。

(ウ) 職員に対してAEDの使用方法や、救急救命の研修を含めた訓練を行うこと。

キ 光化学スモッグ、熱中症等の気象への対応

光化学スモッグ注意報・警報に関する情報や熱中症警戒アラートに関する情報等を収集し、注意報発令時には、利用者に対して注意を喚起する。また、警報発令時には、注意喚起のほか、屋外でのスポーツ活動を中止し、日陰や屋内に休ませる等の適切な対応を図ること。

ク その他

(ア) 利用者に対するマナー等の指導

(イ) 球場内備品、設備等の管理

(ウ) 鍵等の施設の保安に係る物品の保管

(エ) 貸出に伴う施設、附属設備及び用器具等の準備

(オ) 毎日の開場前の施設点検

(カ) 利用者の安全・安心、利便性を損なわない範囲で、節電等に努めること。

(キ) その他球場内の秩序維持及び利用者利便の観点から、必要と判断されること

#### 4 施設の維持管理に関する業務について

##### (1) 本業務の目標

施設を常に良好な状態に保つとともに、球場内の美観・衛生を保ち、利用者の快適な利用環境を確保すること。

また、機械設備等については、定期的な保守点検を実施し、異常個所の早期発見、施設寿命の延長を図ること。

なお、作業は施設管理に関する各種法令、指針等に従い実施することとし、作業実施に際しては、利用者の安全確保を徹底するとともに、休場日等を活用して、利用者の利用に影響が出ないよう努めること。

##### (2) 建物の管理

#### ア 建物の維持管理

建物の維持管理は、「建築保全業務共通仕様書 国土交通省」（最新版）を基準とし、建物を常に良好な状態に保ち、利用者が安全・安心して利用できる環境を維持すること。

#### イ 特定建築物の定期調査について

建築基準法第12条第2項に基づく公共建築物等の定期点検を3年に1度実施することとし、指定期間内における実施時期は、令和7年度と令和10年度とする。点検結果については、電子データ及び報告書（副本2部）を市に提出すること。

なお、点検基準は、「建築物の定期調査報告における調査及び定期点検における点検の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を定める件（平成20年国土交通省告示第282号）」によるものとし、「国の機関の建築物の点検・確認ガイドライン」（最新版）及び「特定建築物定期調査業務基準」（最新版）を参考とすること。

### （3）設備等の維持管理

#### ア 設備・機器運転保守員の配置

設備等の運転、保守を行う者を配置すること。

業務の実施は、消防法、電気事業法、その他関係法令に基づき行うものとする。

#### イ 設備等の維持管理

（ア）設備等の維持管理は、「建築保全業務共通仕様書 国土交通省」（最新版）を基準とし、設備を常に良好な状態に保ち、利用者が安全かつ安心して利用できる環境を維持するとともに、異常個所の早期発見に努め、次に掲げる業務を実施すること。

- a 施設の供用に伴う機械設備の運転
- b 日常点検
- c 業務日報の作成
- d 機械設備の機能維持のための清掃、調整
- e 機械設備の軽微な修繕及び応急措置
- f 電気、ガス、水道等の検針
- g 修繕実施時の利用者の安全確保及び作業工程確認のための立会い
- h 施設を効率的かつ安全に運営するための計画の作成
  - ・機械設備保守点検計画
  - ・光熱水費等の省エネルギー化計画
  - ・長期保全計画
  - ・その他設備管理に関する提案事項及び必要な事項の計画

（イ）建築基準法第12条第4項の規定に基づき、特定建築設備について、国土交通省で定めるところにより、定期調査を実施し、その調査結果について、市に提出すること。

（ウ）消防法第17条の3の3及び昭和50年消防庁告示第14号に基づき実施する総合点検における点検項目のうち、運転性能について、擬似負荷運転方式により必要な点検を行い、その調査結果について、市に報告すること。

### （4）各種機器等の定期保守点検

機械類、体育器具類については、「資料5 相模原球場の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準」を参照し、関係法令にのっとり保守点検を実施すること。なお、点検の結果については市に提出すること。

#### (5) グラウンド等維持管理業務

プロ野球公式戦の開催を想定し、グラウンド等は、常に良好な状態で供用できるよう、次に掲げる業務による維持管理を行うこと。

##### ア 内野グラウンドの維持管理

内野グラウンドについては、スポーツトラクター等の機器を用い、不陸整正、転圧、混合土の補充等を日常的に行うこと。

また、令和7年度及び令和9年度には、野球場の管理に十分な実績を持つ専門の業者又は同等の技術を有する者による、維持補修業務をグラウンド冬季閉鎖期間中に実施すること。この維持補修業務には、掘起し、不陸整正、転圧、混合土の補充等の業務に加え、ベース・ピッチャープレートとの交換やスポーツポイントの設置等を行うこと。

##### イ 芝の維持管理

外野の芝については、「資料6 相模原球場の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準」を参考に、野球場の管理に十分な実績を持つ専門の業者又は同等の技術を有する者による、年間を通しての芝の維持管理に努めること。

芝生スタンドについても、外野の芝の維持管理と併せて、効率的・効果的な維持管理を行うこと。

##### ウ 屋内練習場（ブルペン）

内野グラウンドの維持管理と併せて、効率的・効果的に行うこと。

##### エ その他

相模原球場において使用するスポーツトラクター（3台）については、現に施設に備え付けられているものを使用し、上記維持管理業務に活用すること。

また、業務において除草剤等の農薬を使用する場合には、農薬取締法及び通達（平成25年4月26日25消安第175号・環水大土発第1304261号「資料17 住宅地等における農薬使用について」）等に従い、来場者及び近隣住民等に健康被害を及ぼすことがないように対処すること。

#### (6) 清掃、廃棄物処分業務

球場の清掃については、「資料6 相模原球場の指定管理者が行う業務及び管理の実施基準」を充足して実施し、利用者の安全で快適な利用を確保すること。

また、ごみ等の廃棄物処分について、関係法令を順守し、適正な方法をもって定期的な処分を行い、利用者に不快感を抱かせることのないようにすること。

#### (7) 環境衛生管理

環境衛生の維持に関する業務については、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に従い、施設の環境衛生を保持し、利用者の安全で快適な利用を確保すること。

#### (8) 修繕の実施

ア 施設の状態（老朽度合等）を的確に把握した上で、1件あたりの額が130万円以下の修繕について、実施すること。

なお、この額を超える修繕等については、原則として市の負担により行うこととするが、実施方法については、利用者サービス低下の防止等の観点から市と指定管理者で協議の上決定するものとする。

イ 修繕の実施に際しては、施設利用の妨げにならないよう努力を行う等、施設利用者の利

便を最大限尊重すること。

#### (9) 機械警備

ア 機械警備については、既設のものを使用することができる。

なお、他社製品による機械警備を行う場合には、事前に市と協議を行うこと。

イ 異常発生時の連絡体制については、事前に市に報告すること。これに変更が生じた場合も同様とする。

ウ 機械警備に係るセキュリティカード等の管理については、細心の注意を払うこと。

#### (10) 消火器

消防点検において、各消火器の年数を確認し、耐用年数を経過しているものについては交換すること。

### 6 スポーツの日無料開放の実施

毎年、スポーツの日には、市と共催して体育室の個人利用に限り施設を無料で開放すること。

なお、市は当該事業に係る施設使用料に相当する金額の補償は行わない。

### 7 ネーミングライツ（施設命名権）導入に伴うスポンサーメリット対応業務

相模原球場に導入される施設命名権に伴い発生するスポンサーメリット対応業務について、市と協議の上、行うこと。

#### (1) 施設命名権その他の権利運用に伴う連絡調整

市と施設命名権者との間で締結した契約書等に定める事項を遵守し、市及び施設命名権者との連絡調整を綿密に行い、付与された権利の運用を適切に行うとともに、スポンサーメリットが最大限発揮されるよう努めること。

また、施設命名権者が有償利用権（1回の申請につき1日を上限とし、年間2回まで申請可能）を保有することから、年間利用計画策定前に利用希望日等を確認し、十分に配慮すること。

(2) 国際大会等で商業権が主催者に属する場合には、主催者の指示に従い企業名や広告を一時的に遮蔽すること。

(3) 相模原球場で大規模な大会等が開催される場合や劇場映画や企業CM等のロケ地として活用される場合には、適宜、市と情報共有を図るとともに、その実績について月次報告書等で報告すること。

### 8 疑義の取り扱い

本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合については、その都度市と指定管理者間で協議の上、決定することとする。